

（フアレスト戦争に對する闘争）

日常の具体的な利害のための闘争と結びつけて、フアレストの暴行をやらねばならぬ。戦争については紙幣金の反動や戦争のための物價値上りとの關係などを、庶民會研究會で徹底せしめ、兵卒委員會、準備兵委員會出征兵士家族委員會、軍人家族委員會を組織し出征兵士の家族を救へ、出征兵士を戦地から遠ざけ、等の闘争に立たしめねばならぬ。

社会フアレストに對する闘争

最近熊本部隊の杉山などによつて全農協同聯合會と云ふ組織まで大衆の闘争を抑へつけやうとする組合が行橋町を中心にして出来た、社会フアレスト共に對しては日常闘争その他見ゆる場所、彼等の善切りをバタロシ、具体的な問題をつかまえて彼等と全農協同とどつちの指導が正しいかを實踐によつて示し、彼等にキマンされてゐる大衆を善等の側に導かねばならぬ。

青年部の活動

重要なことは戦争の時期における農村青年のもつ重大な役割を重視してはならない、青年独自の要求の上にたつ青年部らしい活動方法で農村青年委員會運動の活動を展開を急ぐを要する任である、之は青年のみに任せてかくのでなく親父組合の各組織員及全組合員が直接青年部にあらゆる援助を與へ協力してやらねばならぬ。

組織方針

第一、組合の活動は指導である、指導を失ふと大體に於て生産點であり生産實質の一環してゐるのは都府である、指導をキソとすることによつて農民委員會活動その他あらゆる闘争をも進し異く最も強固である、第一の確立されてゐない處では早く確立を確立しまたまつた活動をするやうにせなければならぬ。

支部、支部は一村村内に二ヶ以上の支部組織があれば必ず組織